

プロジェクト・ワイルド 鳥編を 利用するには？

授業で野鳥を学ぶ
アクティビティを
やってほしい！

アクティビティを
通して鳥のすばらしさを
子どもたちに伝えたい！

子どもたちや
お客様に鳥のアク
ティビティを楽しん
でもらいたい！

野鳥の
インストラクター
を育てたい！

指導者を
探す

指導者に
なる

全国で指導者が活動しており、ニーズに合わせて、学校、企業、子ども会など各種団体向けに指導者を派遣いたします。お気軽に事務局までご相談ください。

全国各地で開催されている講習会では、テキストの活用方法や指導法などを、模擬体験を通して学ぶことができます。詳しい講習会情報は、ホームページに掲載しています。

※プロジェクト・ワイルドでは、ひとつの活動をアクティビティと呼んでいます。



ホームページやFacebookで

情報発信中！

プロジェクト・ワイルド

検索

鳥編によせて

アメリカ人と日本人は鳥に対する接し方、感じ方が違うのかもしれませんが。日本の多くの子もたちは、夏になると蝉採りなど昆虫採集を楽しみます。しかし、アメリカでは、そうでもありません。「Bird Festival」と名づけられた学校の文化祭や地域のお祭り、北アメリカ全土で6万人以上の人たちが一斉に野鳥の数をカウントする「クリスマス・バードカウント (CBC)」など鳥をテーマとした様々なイベントが、アメリカ各地で開催されています。このような背景もあって、アメリカ各州では鳥をテーマとした様々な環境教育プログラムが開発されています。

プロジェクト・ワイルド 鳥編は、アメリカ・ペンシルヴェニア州で開発された鳥のさえずりプログラム「Pennsylvania Songbirds」や、Project WILD 本部（全米野生生物協会 AFWA）がアメリカで普及している鳥のプログラム「Flying WILD」をもとに、より楽しい使いやすいプログラムとなるよう、必要と感じたものは大きく内容を変えて、日本版を作り上げました。まったく新しいプログラム（日本オリジナル）もいくつか入っています。題材となる鳥たちは、ほぼすべて日本で見られる鳥たちに置き換えました。

鳥は、北極から南極まで地球上の至る所に生息しています。また、多くの種が毎年長距離の渡りを行い、さらに多くの鳥が不規則な短距離の移動を行っています。その生態は非常に興味深く、学びを深めるほどに新しい疑問がどんどん沸き起こり、その魅力に引き込まれていきます。

どうぞプロジェクト・ワイルド 鳥編のアイディアを活用してください！いつも何気なく見ている鳥たちが、まったく違って見えるかもしれませんよ！

日本代表コーディネーター
川原 洋(ひろ)



プロジェクト・ワイルドは、環境教育推進法における人材認定等事業において環境省、国土交通省から認定されています。

※人材認定事業とは、環境の保全に関する「指導者を育成する事業」または「指導者を認定する事業」を指し、2018年1月現在、46団体が登録されています。

お問い合わせ先

(一財)公園財団 プロジェクト・ワイルド事務局 TEL03(6674)1188
〒112-0014 東京都文京区関口1-47-12 江戸川橋ビル2階
電子メールアドレス: projectwild@prfj.or.jp

(2018年3月)

環境教育プログラム

プロジェクト・ワイルド

鳥編



一般財団法人 公園財団

プロジェクト・ワイルド鳥編 には、鳥について楽しく学べる アイディアがつまっています

Point 1 多様で、多角的な アクティビティ

鳥のからだのしくみ、生態、文化、保全など、さまざまな角度から鳥について学び、その魅力を発見できます



Point 2 誰でも参加できる 体験型学習



子どもから大人まで誰もが参加しながら、体験的かつ段階的に学ぶことができます

This is
“Active Learning”.

Point 3 活用の機会が広がる 汎用性



幼稚園での遊びや学校での授業、野外活動、観察会、企業の環境研修など、さまざまな場面で活用できます

テキストの紹介

イラストや写真も豊富でオールカラー!

アクティビティを深めるためのポイントも掲載

主な内容

アクティビティに必要な基礎知識も掲載

実施場所や人数、準備物などが一目瞭然

コピーして使えるイラストやワークシートも付録

鳥に親しむ

1 からだのしくみ
Bird Biology
鳥のからだのしくみを部位別に取り上げ、その驚くべき機能を学びます。

2 特徴的な行動
Characteristic Behavior
さえずりや巣づくりなど、鳥ならではの行動を、その裏に隠された理由などとともに探ります。

3 自然のすみか
Habitat
鳥の生息環境へのさまざまな影響と、その中で生き抜くための鳥たちの知恵や行動を学びます。

4 渡り
Migration
鳥が渡る理由を考え、さまざまなハードルを克服していく渡りを体験します。

鳥と生きる

5 鳥と人
Birds and People
鳥と人のつながりを、言葉や美術、絵画などの視点から考えます。

6 観る、調べる
Watch & Research
自然の中の野鳥を観察し、目的を決めて調査をおこなうための技術と手法を身につけます。

7 鳥たちに迫る危機
Crisis for Birds
環境問題や自然環境の変化が鳥たちに与えている影響を具体的に考えます。

鳥の未来

8 行動しよう
Action
鳥と共存していくために、自分たちができることを考え、行動を起こします。

※プロジェクト・ワイルドでは、ひとつの活動をアクティビティと呼んでいます。